

議会だより みなかみ

もっえん
おめでとう

新年度予算	2P
請願・陳情	6P
一般質問	10P
活動報告	15P
町民広場・ふるさとクイズ	18P

群馬県利根郡みなかみ町

平成28年(2016年)

4月15日発行

44号

写真：月夜野幼稚園、卒園式当日のようす

でまちづくり

目玉事業

3月議会のあらまし

3月定例議会が3月8日から18日までの11日間の会期で開催されました。初日には、固定資産評価審査委員会委員や農業委員会の委員を選任したほか、補正予算5件、契約2件、条例19件、規約や計画変更等その他の案件4件について議決しました。また皆様から寄せられた請願・陳

情文書は所管の委員会に付託し、平成28年度予算は3常任委員会合同の連合審査会に付託しました（関連4～6頁）。
一般質問は初日と2日目に行われ、3日目は各委員会を開催し、最終日には附帯決議案（関連9頁）を含めた当初予算を可決しました。

地域の宝、利根商施設の充実……9860万円



人工芝に整備予定の利根商サッカー場

※1 利根商基本構想8本柱の一つである施設の充実を図り、利根商の活性化を町の活性化に繋がります。（関連4・8・9頁）

みなかみの尊い自然を未来へ……2219万円



利根川源流、大水上山

ユネスコエコパークへの取り組みで、これまでもこれからも、自然と人間社会が共生していく町を目指します。

長年の感謝を込めて整理整頓1億4188万円



旧幸知小学校

旧幸知小学校等を解体し、今後の有効活用を目指します。

※1 「利根商」とは、「利根沼田学校組合立利根商業高等学校の略称」のことで、日本でも珍しい組合立で設立されている商業高校です。学校法人として昭和33年（1958）に開校した経緯があります。昭和48年（1973）に当時の利根沼田9市町村が、一部事務組合（利根沼田学校組合）の設立認可をへて特色ある地域の学校として現在に至ります。

ただわたりばし 徒渉橋完成を目指す…2億4000万円



真政悪戸線の利根川に架かる徒渉橋

後閑地区と町組地区を結ぶ都市計画道路真政悪戸線の、利根川に架かる徒渉橋架設工事が行われます。

徒渉橋は長さ96mの鋼製の橋として計画され、平成23年までに、橋を支える河川両側の橋台と河川中央の橋脚が完成していました。

橋本体工事は、平成27年度から平成28年度への2カ年計画で、平成29年度の舗装工事や前後区間の道路の完成により、通行できるようにするのは平成30年3月頃の予定です。

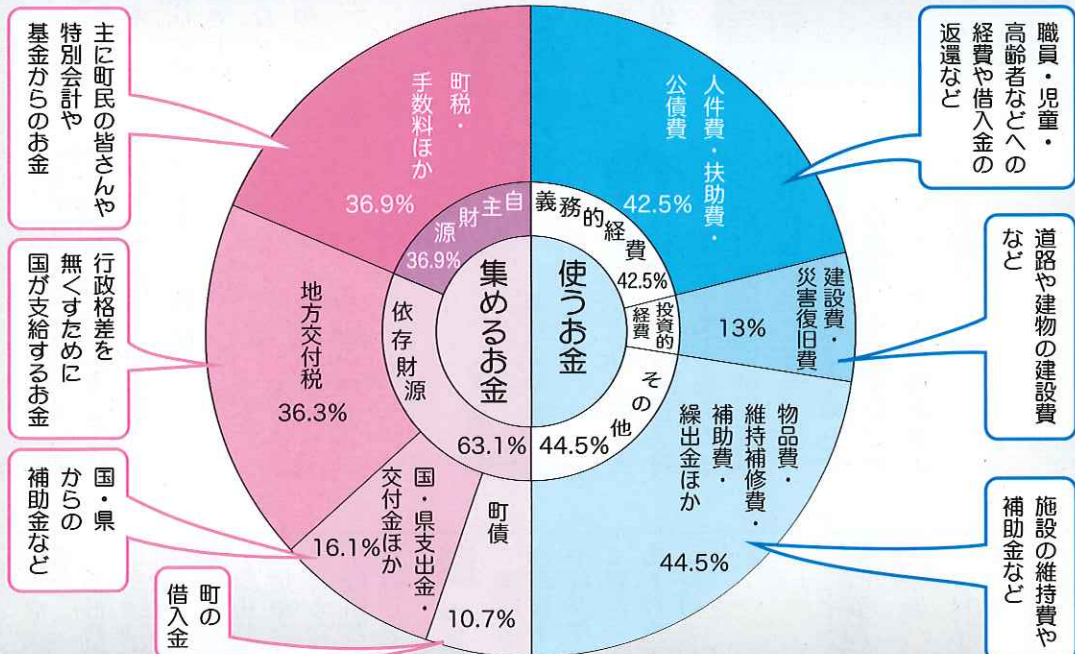
真政悪戸線（約2.4km）は、これまで約12億円が費やされてきました。

徒渉橋が完成すると安全な自転車通学の確保、通勤学時間の短縮、災害時の避難施設への避難時間の短縮などが見込まれ、完成が期待されます。

新年度予算
決まる

施設整備

一般会計当初予算 **135億6千万円** (前年比△1.9%) 内訳



主に町民の皆さんや特別会計や基金からのお金

行政格差を無くすために国が支給するお金

国・県からの補助金など

職員・児童・高齢者などへの経費や借入金の返還など

道路や建物の建設費など

施設の維持費や補助金など

本会議討論

一般会計

反 石坂 武議員

利根商の施設整備補助金計上には、学校組合構成団体の負担割合決めが最低限必要だ。議論の時間も無い強引なやり方は問題だ。

賛 高橋久美子議員

地域福祉や健康づくりの推進、道路整備事業等、生活充実を図る予算が盛り込まれている。

賛成多数可決 13..4

国民健康保険特別会計

反 林 誠行議員

国の負担増を求め、保険料の引き下げを。

賛 高橋久美子議員

医療費増加傾向での増額予算は安心して医療を受けられること。運営上必要な予算。

賛成多数可決 15..2

後期高齢者医療特別会計

反 林 誠行議員

給付費増だが黒字収支(厚生労働省発表)は保険料が高い証拠。法改正で軽減措置も徐々に廃止が決定。

賛 鈴木 初夫議員

町からの支出は主に広域連合への負担金で、75歳以上の方の医療を担っている。

賛成多数可決 15..2

介護保険特別会計

反 林 誠行議員

利用者の人権としての医療、介護保険制度の充実を求める。

賛 石坂 武議員

要介護サービスが増える中、安定的で持続可能な取り組みがされており評価する。

賛成多数可決 15..2

下水道事業特別会計

反 原澤 良輝議員

一般会計から繰入れても返済が残る。緑の県民税等を利用して助成制度を導入する必要がある。

賛 森 健治議員

長寿化計画や起債残高の健全運営の努力も見られる。生活や水質保全には欠かせない予算。

賛成多数可決 15..2

水道事業会計

反 原澤 良輝議員

特に猿ヶ京浄水場新設計画の浄水方法には問題があり、再検討が必要だ。

賛 林 一彦議員

災害に強い水道づくり事業の着手や老朽管布設工事が計画されている。

賛成多数可決 14..3

町民福祉課 老人福祉費

高齢者紙おむつ委託先の拡大は 高橋市郎議員

問 高齢者紙おむつ支給事業の委託先は社会福祉協議会だと思いが、可能性として民間の商店に拡大できるのか。社協で土日

答 今回の制度をうまく活かして購入先を広げ、社協以外の場所でも購入できる方向で検討している。

も対応するかどうかなどの検討がなされているのか。

町民福祉課 老人福祉費

緊急通報システムとは 中島信義議員

問 緊急通報システムとはどんな形のものか。

答 概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者が対象で、体に緊急を要するような疾病を抱え、町民税の世帯非課税者となる。

日常生活を営む上でのトイレ、冷蔵庫、テレビなどに付けたセンサーで分かるような仕組み。



センサーを取り付けられる家電

委員会討論

一般会計 賛成多数(総務文教常任委員会)

反 小野章一 委員

利根商業高等学校施設整備補助金9860万円は、利根沼田中学校組合を構成する市町村

の負担割合の決定も早い足早な予算計上としか言えない。学校組合の説明不足で反対します。

反 中島信義 委員

組合立の中で負担割合が決まっていない。平成28年度予算について細かい説明があり、ある程度の理解はしたがるが反対させてもらう。

賛 高橋市郎 委員

利根商について町の当局、職員、議会が本気で活性化を図る思いでこの予算を通さなければ、今後の負担割合の交渉にも弱いものがあるのではないかと危惧する。

広域圏における負担は総務部課長会議、事務レベルで協議され、それを議会または理事会で決定すると理解している。利根商の活性化を図らずして町の活性化はないという思いで、この予算はあると確信している。よって賛成。

国民健康保険特別会計 賛成多数(厚生常任委員会)

反 林 誠行 委員

まだ基金が相当残っている。保険料の引き下げを求め

賛 林 一彦 委員

住民が安心安全に生活するうえで、欠くことができない予算。

後期高齢者医療特別会計 賛成多数(厚生常任委員会)

反 林 誠行 委員

法改正で保険料の特別軽減が廃止される。75歳以上の方が差別される制度だ。75歳以上の方に生き暮らしていただくために欠くことのできない予算。

賛 林 一彦 委員

介護保険特別会計 賛成多数(厚生常任委員会)

反 林 誠行 委員

介護受給できない状況が続いている。保険制度ができた当初に戻すべき。介護する人、される人で成り立っている。この予算無しでは成り立たない。

賛 林 一彦 委員

下水道事業特別会計 賛成多数(厚生常任委員会)

反 林 誠行 委員

一般会計繰入金や地方債等で賄われており独立会計とするのは無理がある。安心安全な生活を送るうえで下水道は重要なファクターである。

賛 林 一彦 委員

水道事業会計 賛成多数(厚生常任委員会)

反 林 誠行 委員

企業会計として独立して運営していくことに無理がある。住民の安心安全な生活に直結している事業である。

賛 林 一彦 委員

予算連合審査会

質疑討論

3月10日に終日をかけ、3常任委員会が合同（全議員）で当初予算の審査を行いました。審査の質疑が詳細に渡り交わされました。

ここでは、そのごく一部を紹介いたします。



総合政策課

交通政策費

路線バス要望の検討余地は

高橋市郎議員

問

交通政策費で路線バスの運行に対して要望があった場合は、検討する余地があるか。

答

以前から関越交通に話している。人口減で乗客数が伸びないことから、逆に委託路線にできないかといわれている。努力できる部分は努力して欲しいことを伝えながら路線確保を行いたい。ベイシアの部分については、要望等をあげて今後も話をしていきたい。

まちづくり交流課

協働のまちづくり費

まちづくり協議会の評価は

久保秀雄議員

問

まちづくり協議会支援交付金900万円計上で、いろいろな取り組みがなされてきた。数年経っているが、どのような評価をしているか。事業を持続し発展させていく目的だが、同じ事業が繰り返されるという状況だ、事業推進を検討しては。

答

前年度の実績に対して、意見交換をしてもらい、新年度の予算に対して、それぞれの地区の中で議論し評価している。新しい形が良いのかどうかということを含めて、仕切り直しをしていきたいと思っている。

※1まちづくり協議会：住民が一体となり地域の特色と個性を活かしたまちづくりを実践する組織として、平成21年度に旧町村単位の3地区に設置されました。

まちづくり交流課

地場産業振興費

どのような補助で何処に補助を

鈴木初夫議員

問

ア. 地場産業振興対策事業補助金。
イ. ぐんま新技術・新製品開発推進補助金。
ウ. 地場産品普及開発事業補助金とはどのようなもので何処に支出するのか。

答

アは商工会に600万円、地域ブランド推進実行委員会に400万円。地場産品の普及や販路開拓を実施している。イは、群馬県が40万円、町が40万円補助の事業で、新しい技術の開発、新製品の開発をする事業者を募集し補助する予定。ウは、製品の開発・販路開拓を考えている事業者に対する補助金で、上限40万円で10件を考えている。



請願陳情

みなさんからの声

請願事項		提出者	所管委員会及び審査結果	本会議審議結果	
請願	第1号	全日本年金者組合群馬県本部 群馬県本部 委員長 女屋 定俊 利根支部 支部長 林 マツ	厚生 常任委員会 (採択)	趣旨採択 全会一致	
	第3号	群馬県連合会北部地域協議会 北部地域協議会 議長 渡辺 春彦 (一社)群馬県労働者福祉協議会 理事長 北川 秀一	総務文教 常任委員会 (採択)	採 択 全会一致	
	第2号	「国際平和支援法、平和安全法制整備法の廃止」に関する意見書の提出を求める請願	利根沼田労働組合 議長 加藤 貴	総務文教 常任委員会 一括審査 (不採択)	不採択 賛成少数 3:14
	第4号	「国際平和支援法、平和安全法制整備法を廃止するよう」意見書の提出を求める請願書	利根沼田平和委員会 会長 佐藤 卓三		不採択 賛成少数 3:14
	第5号	「平和安全保障関連法(戦争法)」を廃止するよう、意見書提出を求める請願書	利根沼田生活と健康を守る会 会長 穂苅 精一		不採択 賛成少数 3:14
	第6号	「国際平和支援法、平和安全法制整備法を廃止するよう」意見書の提出を求める請願書	みなかみ町月夜野勤労者協議会 会長 佐藤 健一郎 みなかみ町新治勤労者協議会 会長 高橋 扶吉 みなかみ町阿能川 875 阿部 圭助		不採択 賛成少数 3:14
	第7号	「国際平和支援法、平和安全法制整備法を廃止するよう」意見書の提出を求める請願書	戦争をさせない 利根沼田実行委員会 実行委員長 都築 靖	不採択 賛成少数 3:14	
陳情	第1号	たくみの里、施設整備のお願い 代表 阿部 スミ 他 12名	産業観光 常任委員会 (採択)	採 択 全会一致	



寺通りにある一之宮桜祭りの様子

本会議討論

賛 林 誠行議員

軍事に対し軍事で対応する法律の廃止を

(請願第2号・第4号〜7号)

海外で武力行使ができる法律だ。中国や北朝鮮は驚異とされているが、中国は最大の貿易国であり深い関係にある。北朝鮮は国際社会から対話が求められている中、軍事に対して軍事で対応を準備している法律であり、廃止することに意見書を提出する請願に賛成。

議 発

産業界／金融・行政・教育機関／ 町民が一体となつて産業振興を



小規模な店が多い町並み

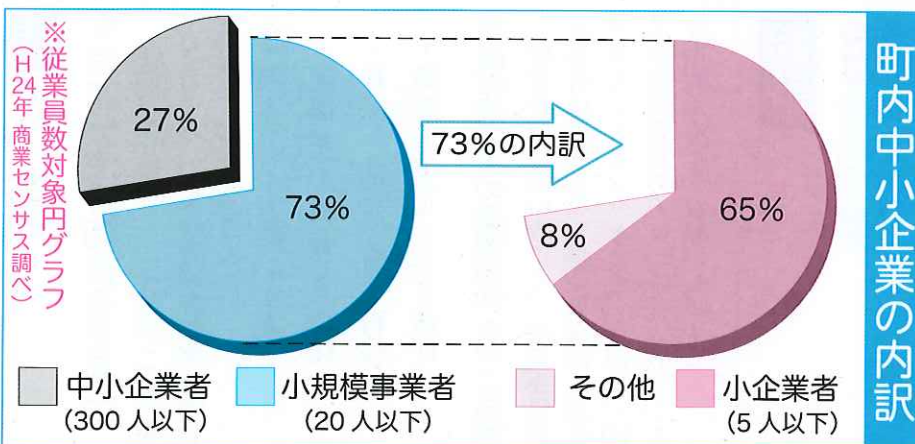
中小企業・小規模企業振興基本条例

全会一致可決

議会では、産業観光常任委員会と地域活性化対策特別委員会の合同委員会が、町並びに商工会と協力して産業振興を目的に、町内小規模事業者を支援する取り組みの検討を、昨年12月より行ってきました。会議を重ね、「中小企業・小規模企業振興基本条例」として議会発議し、3月定例議会で全会一致可決されました。 ※関連15頁

町内事業者は、円グラフに示すとおり大型旅館や建設業などの中小企業が約3割で、残りの7割は小規模事業者です。そのほとんどは、個人商店などの従業員が5名以下の小企業者で、多くは大規模小売店の進出による売上高減少や、後継者不足といった要因により、経営維持どころか廃業の危機にさらされているのが現状です。

この条例では、小規模な事業者のみならず中小企業者も含めた支援とし、社会・経済状況に応じた振興策を義務づけています。町や商工会では、これまでも町内の産業振興に結びつけるために様々な支援策を実施してきましたが、制度面で支援強化が計られることにより、一層の町内の産業振興が期待されます。



その他の議決結果

条例

消防団の手当増える

消防団手当では、年額1万円の防災手当のみでしたが、
 「出勤手当一回1500円」
 「訓練手当一回1000円」
 の追加が決まりました。
 手当の種類や金額は、市町村により様々ですが、常日頃のご苦労に手当しているところが多くあります。



消防団員による文化財防火訓練の様子

計画変更

過疎債適用のない学校組合に代わり町が計画変更

過疎地域指定をされている本町は、財政上の特別措置を受けようと、平成28年から5カ年計画の過疎計画案の提出をしています。3月議会で新たな事業追加議案が提出されました。その中で特に利根商の整備計上について議論が交わされました。過疎債が適用されると町負担は3割となります。

賛成多数可決 14…3(関連2・3頁)

主な質疑と答弁

問 鈴木初夫議員・石坂武議員・原澤良輝議員・小野章一議員

計画自体に反対ではないが、利根商組合構成団体との負担割合が決まっていない。団体間で歪みが出てはならない。組合のことは組合に任せてきた。この町だけ先行しての起債は心配だ。変更案の説明後、構成団体への働きかけはいつ頃までに割合を決定させるのか。高いハードルを越えられない場合はどのような考えか。県の了承はどの段階までか。利根商の問題はいろいろあるが、校舎の耐用年数や改革の計画は。

答

町長

構成団体それぞれが責任を持って運営している利根商である

との認識は共通していると思っている。項目は全員が納得して国に出した要望書の中に入っている。過疎債は学校組合では使えなく、みなかみ町ならば可能なので、相談している。黙っていれば今後必要な整備に交付金無しで構成団体と組合が分担して行かざるを得ない状況。

理事会開催はしていないが、構成員とは意見交換を何回かした。現段階では決めにいく話。期間が短いことについては認める。構成市町村理事は承知しており、無視しているわけではない。

議会同意を得るに先立ち、県にも承認を得ることになっている。利根商は早急に施設を直すものではなく、改革計画は5年かけてやっていく。

人事

固定資産評価審査委員会

委員選任

全会一致同意

3名の方が、固定資産評価審査委員会委員に選任されました。3年間よろしく願います。

- ・阿部 正一氏(高日向)再任
- ・神保 進氏(入須川)再任
- ・柳瀬 哲夫氏(月夜野)新任

農業委員会の委員選任 全会一致同意

農業委員会法の改正で、農業委員会の委員は選挙でなく議会の議決で選任されることとなりました。今回は、19名の農業委員の方々が選任されました。3年間よろしく願います。

討論

反 鈴木初夫議員

構成市町村の十分な協議もないまま独自起債は不安が残る。早急に負担方法について合意を得てから計画の変更を協議すべき。

反 小野彰一議員

学校再建の意気込みと負担等については各市町村で協議されることが最も大切。説明不足も甚だしい。現時点で負担にならないことを前提にした議論が必要だ。

附帯決議

利根商改革には丁寧な説明と負担割合の明確化を

賛成多数可決 15・2(関連2・3頁)

「教育施設整備補助金交付事業」を盛り込んだ、平成28年度一般会計予算可決直後に一般会計予算に対する※附帯決議案が8名の議員より提出されました。

附帯決議事項

1. 利根商改革には、町民の理解を得るため丁寧な説明をすること。
2. 利根商改革推進には、財政計画、財源内訳を示し、構成団体の負担割合を明確にして事業の推進をすること。

討論

前田善成議員

賛

教育施設整備補助金交付事業の本質は、町の地域活性化振興策として、利根商を活用し後世に残すために真剣に町、議会、町民が一丸となっている様子を見せることである。そう見える行動を議員が示し地方創生の切り札、町の新しい風とした未来に希望が見える決議に賛成する。

※1 附帯決議：ある議案表決時に、議会の意思を表明するものとして行う。一般的には委員会で行うが、本会議にも賛同者がいれば提出できる。運用や、将来改善の希望などを表明するもの。法律的な拘束力はないが、尊重することが求められる。



利根商業高等学校校舎

正補予算

一般会計

全会一致可決

林一彦議員
観光費の工事費について詳細を。

問

答 観光課長
観光センター1階のトイレを洋式に変えるものと、現在総合政策課にある「銀と七宝の家」の橋本さんから寄贈頂いたブロンズ像を観光センター入口に設置する工事費です。

問 石坂武議員

10周年記念事業の負担金補助とは。また、「まんてん星の湯」と「風和の湯」の負担金補助は突然の故障か、老朽化か。老朽化であれば、28年度予算に載せるべきものがあつたか。

答 まちづくり交流課長
企業協賛金が思うように集まらず財源不足の補正です。

「まんてん星の湯」については両方で、「風和の湯」は老朽化です。ほとんどの温泉センターについて老朽化が見られますが、当初予算に全てそれらを盛り込めないのが現状です。



まんてん星湯

- 国民健康保険特別会計 全会一致可決
- 介護保険特別会計 全会一致可決
- 下水道事業特別会計 全会一致可決
- 水道事業会計 全会一致可決

4人が質問を行いました。

林 誠行

- ① 藤原地区の高齢者の状況は
- ② 給食センターの管理・運営について……………11

高橋 久美子

- ① ユネスコエコパークの取り組みについて……………12

前田 善成

- ① 地方創生エンジンといわれていますが、「みなかみ版CCRC」実現の可能性について……………13

原澤 良輝

- ① 町創生と高等教育について
- ② 町民生活と新年度予算について
- ③ 子ども園運営体制について……………14

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果があります。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっています。



林 誠行 議員

藤原地区高齢者の状況は

町長

包括ケアシステムの確立を検討し、具体的な対策を講じたい

問 藤原地区の高齢者の状況、何らかの介護サービスを受けている方は。

答 町長 町の高齢化率は31%から、35.9%と増加、同地区はその傾向が強い。

町民福祉課長

藤原地区の65歳以上は202人、高齢化率は44.9%。50人が介護認定を受け、サービスを受けている方は45人。

問 デイサービスを受けている方に、「土曜日は休んで下さい」と言う対応をされていると聞くが。

答 町民福祉課長 1〜3月の間、土曜日のサービスを控えたい、という申し出が家族からある。



藤原地区のお年寄り

問 雪の影響が心配だが、一日でも多くの対応をお願いしたい。「空いている保育園でも使つての対応や入浴も…」等の要望が出ていた。

答 町長 包括ケアシステムの確立というのは非常に重要だ。町内の医療・福祉関係者、事業者の方が、熱心に検討している。これらを洗い出し、対策を講じて行きたい。具体的な提言を期待したい。

給食センターの管理・運営について

問 給食甲子園の取組みはすごい。町の子も達は幸せだ。機会も増やし、町の食材を使うことで地域活性化にもつながるが。

答 教育長 「まるごとみなかみいただきます」では、全ての食材を町内産で賄った。5年生以上の児童、生徒からも「美味しかった、また食べたい」と答えている。地産地消の重要性を改めて強く認識した。

問 社会に出た子ども達が、自分の子どもにも食べさせたと思える給食甲子園をスプーン一つで食べるというのは納得いかない。

答 教育長 現在、箸とスプーンを一緒に出すことはない。洋食はスプーン、和食は箸としている。工夫しながら食べるのも給食教育の一つ。



高橋久美子 議員

町民が主役のユネスコエコパークを

町長 町民一体としての取り組みが重要と位置付け

問

創生総合戦略を策定し、施策を実行に移す段階となってきたが、町民の方にユネスコエコパークの理解を深めていただくために、どのような取り組みをされてきたか伺う。

答

町長 新町みなかみになってからすぐに『みなかみ、水「環境力」宣言』を行い、町づくりを進めてきた。このこと事態がエコパークの位置づけと一致。さらに、広報、リーフレットの全戸配布、イベント等で紹介。

答

町長 「みなかみ町の自然とくらし」という本を作成したのでこれを、

問

登録を目指して、今後どのような取り組みをされるか。



町が作成した冊子

問

広く活用。28年度版エコパークのカレンダーの作成、配布。エコパークロゴ入りポロシャツの販売の検討など、具体的取り組みの為のエコパーク推進協議会というような組織を立ち上げたいと考えている。

問

なかなか町民の方には、エコパークのことが理解されていない。今、町として大事なことは登録を目指し、住民総参加の「あること探し」をリードする環境づくりと仕掛けづくりかと思う。エコパーク登録を目指して一体感を作り出すため、缶バッジの制作やラッピングバスを走らせるなど、エコパーク応援隊結成等を提案したい。見解を伺う。

答

町長 今さまざまなご提言を頂いたこと、それぞれが非常に有効だと思う。具体化に向け検討を進めたい。

問

景観を守る、あるいは活かすことは、大変重要な要素とお答えいただいたが、雪の重みで折れた竹がそのまま放置されて

いる竹林が気になるが。

答

町長 認識は同じ。最もいい方法、あるいは手段を重ねるということもあるかと思う。検討をさせてもらう。

問

月夜野フラワールoadがうまく活用されていないのでは、どの声も聞か。

答

町長 継続的に実践出来るような管理主体を用意しなくてはと思う。

※ユネスコエコパーク

1976年にユネスコ(国連教育科学文化機関)が開始した事業。単に保護・保全をする世界自然遺産とは違い、存在している多様な生物の保全のほか自然と人間社会との共生を目的とし、学術研究支援にも取り組むもの。



前田 善成 議員

「みなかみ版CCRC」実現の可能性は

町長 包括ケアシステムを進めたい

問 地元に必要な雇用を生み出す、「みなかみ版CCRC」^{※1}の方向性、具体的な施策は。

答 町長 「みなかみ版CCRC」は、地方創生の三種の神器であり、総合戦略に必要である。

問 後期高齢者が使う金額は、世代最高の20代の方と同じで食料品だけなら二倍になり、空き家利用にもなるCCRC、その実施ヒヤリング調査を社会福祉戦略研究所に委託したか。

答 町長 社会福祉戦略研究所。

問 前身がブラック企業で、雑誌「ザイテン」によると町の福祉が食い物にされると記載さ

れているが、なぜ委託したのか。記事の内容は真実か。

答 町長 社長は知っていた。委託経緯はわからない。記事とは異なり、調査内容は使用しないし、構想検討準備委員会や包括ケアシステムを進め二地点居住地（都市と地方）を目指していきたい。

問 CCRCは、転入だけでなく、反対に交通や医療の不便なみなかみ地区から便利な地域への転出もあるが、その対策について聞く。

答 町長 国勢調査で高齢者の転出が起きている。施設整備や人材確保を含め検討する。

問 日本版は、アメリカ版の健常者・要介護者・その中間者の3グループ制と異なり、健常者と要介護者の2グループ制であり、老健の活用が必要だと思うが、現状制度の活用は。

答 町長 軽度の介護に力を入れることは効率的だが、医療従事者と真剣に議論していく。

問 日本版は、アメリカのような高所得者ばかりでなく、厚生年金22万円をベースに規模や運営を考え収入による上限制約ができないか。

答 町長 年金が減る方向であり、介護産業以外の地域の雇用を含めてCCRCを考えたい。

問 利根沼田は医療や介護の充実した地域ですが、特養の入居は難しい。そこで住民と移住者と公平感が持てる入居は可能か。

答 町長 どちらを優先すべきか議論はあるが、介護の必要な方を入れていく。



CCRC イメージ写真

※1 CCRC：高齢者が自立して生活できるうちに入居して、社会活動に参加し、介護が必要になった場合も医療を受けながら暮らし続ける仕組み。



原澤 良輝 議員

町創生と高等教育

町長

利根商は地域にとって極めて重要

問

町の創生は高校を活かす必要がある。町の創生と高校の関係で町長の考えは。

答

町長 利根商は町の唯一の高校で、地域にとって極めて重要との認識だ。

問

今年の高校駅伝で男女全国優勝した世羅高校。広島県・世羅町で人口が1万6000人の町。こういう活躍を見ると町民も元気になる。

答

町長 今回の利根商も、学校組合との協議が大切です。町長は町立の高校にする考えは。

町長

下川町の北側、村立おといねっぶ美術工芸高校。8割は郡外からの入学者で寮費を支援。

地域の高校維持は島根・海士町の島前高校が有名。鹿児島・伊佐市が地元の大口高校に、難関校に合格すれば100万円を支払うなど全国で地元高校支援をしている。

利根商は町が前に出た支援が有利になり、過疎計画に織り込み、予算化を提案している。町立を考えねばとは思っていない。

町民生活と新年度予算

問

今年度予算は補正も含め、145億円。合併時は144億円。合併特例の期間が過ぎれば交付金が減ると「100億円、240人」体制を目標に。実際は職員だけが減り、業務過重に。暮れに現職、退職直後の3人の方が亡くなったことに町長はどう考えているか。

答

町長 改革指針で28年4月、職員数が246人になる。社協や委託の民間人が同じサービスをしても、役場職員でないとサービスでないというの認識もある。職員、元職員も亡くなり、いろいろな要因が重なり、業務が多く、難しくなっている要素も否定できない。

子ども園運営体制

問

新つきよのこども園でも運営費が厳しく、半分以上はパート職員になる状況。

正職員を増やしたり通園バスなどの財政支援への町長の考えは。

答

町長 こども園等は運営費を支給。町の支援はどれが効果的か、運営する三峰会にもご相談しながら検討する。



こども園

活動報告

三宅村友好交流 流また一步

交流調査特別委員会委員
長報告
3月18日

東京都三宅村交流は、これまでの友好関係は持続可能で、さらに良好なものにするために（仮称）交流協定を結ぶことを委員会一致で意思決定し、本年1月20日に港区竹芝の島嶼会館にて、三宅村の議長・議会事務局長・担当課長、本町の議長・議会事務局長・まちづくり交流課長・交流調査特別委員会委員長・副委員長で協議した



三宅村観光復興モニュメント「シンビオシス」

しました。その結果、友好交流に関する覚書（仮称）を締結することになり同意いたしました。よって今回委員長報告にて担当課にみなかみ町と三宅村との友好交流に関する覚書の締結についての事務着手することをお願いいたします。

中野区交流事業は、中野区の東京演劇集団「風」との交流で、町の児童生徒に本物の演劇芸術鑑賞教育をさせたいと、町内での公演実施を委員会で決定いたしました。

喜んで一生を過ごせる町の実現へ

地域活性化対策特別委員会委員長報告

3月18日

昨年3月の中間報告以降6つの方向性から、「みなかみ観光リゾート山岳都市構想」は、ユネスコエコパークとの関連性を重視しつつ、行政等とは別の視点で検討し「子どもたちがみなかみで生まれ、喜んで一生を過ごせる町」の実現を目的に活動しました。

①産業の育成、情報基地などを備えた「テーマパーク」的な施設の検討。

②住民しか知らない埋もれた資源を示唆。

③気軽に議論できるツールとして議会初のフェイスブックの作成。

④観光に特化した交通弱者や住民も利用可能な二次交通手段創設の検討。

⑤既存イベントの充実、歴史ある祭りの積極的PR、都市計画道路でのイベントの検討。

⑥高級なブランド力や若者世代の就業に夢を持てる「高原リゾート」にふさわしい「みなかみ産のブドウ栽培とワイン」の検討。



上田市のワインブドウ農園

小規模事業者が活かせる条例づくり

商工会との意見交換会

※関連7頁

産業観光常任委員会と地域活性化対策特別委員会の合同委員会が、町内小規模事業者を支援する条例制定へ向け、1月29日に商工会役員の方々と意見交換を行いました。話し合いの論点は、小規模事業者支援をいかに充実させるかとなり、中小企業のくくりから小規模事業者を重視した名称にしてはどうか、との意見から後日の会議で検討することで幕を閉じました。



意見交換会のようす



いろいろある。何も無いことない。

「この町あるある」

話題 Topics

みなかみの神秘

氷紋 ひょうもん

写真は、2015年4月に矢木沢ダムの湖面に現れた氷紋です。

氷紋とは、氷結した湖や池の表面に見られる、放射状や同心円状などの模様で、氷と表面に積もっている雪や噴出した水が関与して生じるのだそうです。こうした氷紋が表れるのは矢木沢ダムでも珍しいそうで、職員の方がたまたま見つけて写真を撮ったそうです。まるでナスカの地上絵のような神秘が感じられます。

氷筍 ひょうじゆん

写真は、藤原の大幽洞窟おおゆうどうくつに毎年2月下旬頃から3月にかけて出現する氷筍です。上から滴り落ちた雫が瞬時に凍りついたもので、たけのこ(筍)のような形状をしていることからこの名で呼ばれているようです。

町内では、氷筍散策ツアーなども開催されております。



標準的な大きさは、高さ50センチくらい



氷紋の拡大写真

行政視察に見えました

●香川県綾川町 政策グループ議員様

2月4日

目的…行財政改革並びに人材育成基本方針について



香川県綾川町 政策グループ議員様の視察の様子

●宮崎県高千穂町 議会運営委員様

2月17日

目的…議会活性化について

議会だよりの更なる向上を目指して

議会だよりの内容向上を図るためには、町民皆様のお力が必要と考えました。そこで利根商高校パソコン部による編集モニターに続き、44号から編集アドバイザーとして2名の方にご協力をいただくこととなりました。編集アドバイザーは主に2部門に分かれ、写真部門、文章部門でそれぞれご協力いただきます。

写真部門

安部 武氏 (大穴区)



安部さんは、法務省前橋保護観察所を定年退職され20年。在職中から広報関係に従事され、趣味の写真に実益を備えられた見識者です。

文章部門

利根川 太郎氏 (布施区)



利根川さんは、新治小学校長を最後に小中学校教員を定年退職され6年。その学識を議会だより文章表記において、ご教授いただける見識者です。

「編集モニター・読者ご意見」

いただいたご意見とアドバイス

- 多数の書体使いをせず、書体や表示形態を揃え統一感を出す。(利商)
 - カラーページの使い方が突然すぎる。流れ的にも良くない。(利商)
 - 以前より親しみやすく、読みやすい紙面になったと思う。(読者)
 - 若い世代が移住、定住ができるような町にして欲しい。(読者)
 - 全議員の町への希望や思いなどを語って欲しい。(読者)
- 等々、ほか多数の方々よりご意見を頂きました。ありがとうございます。

年明けから部活時間も短い中、今回も親身にご協力をいただいた利根商高校からのアドバイスや、読者の皆様から頂いたご意見を併せて掲載します。これからも伝わりやすい議会だよりになるよう一層努めます。

編集後記

今年の冬は異常気象。年末年始の雪は少なく、1月中旬に梅が開花。その後、寒暖を繰り返し、ようやく桜の便りが！

3月議会は、町の9割を占める中小企業を応援する条例を作りました。雪不足でスキー客などが減り、悲鳴を上げる観光産業などの力にと期待します。

原澤

議会だより編集特別委員会

委員長 …中島 信義
 副委員長 …森 健治
 委員 …高橋久美子 / 石坂 武
 山田 庄一 / 原澤 良輝

傍聴 (席数は34席)

次回の定例会は
6月7日(火)~17日(金) 予定です。

場所：役場本庁舎 3階議場

ぜひ一度、本会議を傍聴してみませんか。



—移住・定住シリーズ⑧—

大自然と家族の優しさに包まれて

会社員 北浦 雅也 氏 36歳(下区)

今回は、今年1月から

新築のマイホームで暮らし始めた、みなかみ町初心者の方です。沼田市出身で町内にご親戚もある奥様に、毎日上毛高原駅まで送迎され、片道2時間かけて通勤されている京都府出身の会社員の方です。

—住んで良かったことは？

地域の方が親切なこと。また仕事が忙しくても、休日は自然に囲まれた環境でリフレッシュでき、以前より衣食住が充実したと思います。家族と過ごす時間を大切にしたいという気持ちも強くなりました。

—逆にお困りのことは？

通勤費が全額支給ではないことですね。それでも、この環境で生活したいという思いで移住してきたので、後悔はしていません。

—夢や抱負は？

家庭菜園に挑戦し、採れた野菜で料理したり、京都の家族にも食べてもらいたいです。ハイキングやキャンプ、庭いじり等、外で活動することが好きなので、これからたくさん身近にある自然の中で遊びたいと思います。ラフティング、カヌー、キャニオニング等にも挑戦したいです。

—町や議会に提案されたいことは？

首都圏へは、通勤圏内だと思います。空き家バンクのように移住の後押しをす

—最後に読者の皆さんへメッセージをお願いします。

ずっとこの町で暮らしている方だからこそ知っている、ガイドブックには載っていない、みなかみ町の良いところを教えてください。良いところを発信していくことで、より多くの方がみなかみ町に興味を持ち、今以上に活気が出ると思います。



？みるせとクイズ

★正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈いたします。ぜひご応募ください。

問題

現在建設中の真政悪戸線(役場本庁舎西利根川沿いの道路)にかかる予定の橋の名前は？

- ささふえばし (A) 笹笛橋
- さんさんばし (B) 燦々橋
- ただわたりばし (C) 徒渉橋

応募のきまり

ハガキに住所・氏名・答えとご意見感想を記入して、下記宛にご応募ください。

前回の議会だより43号ふるさとクイズの正解は「Cの名胡桃城址」でした。保存整備費用の質問が寄せられました。H27年度整備費用は、約6千9百万円でした。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ町議会事務局 議会だより「ふるさとクイズ」係
締切：平成28年5月31日(当日消印有効)

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。